

概 要

1 福井県総人口 752,976 人（令和 4 年 10 月 1 日現在）

本県の総人口は、令和 4 年 10 月 1 日現在 752,976 人となり、令和 3 年 10 月 1 日から令和 4 年 9 月 30 日までの 1 年間に 7,233 人減少した。

全国総人口は 12,483 万人（総務省「人口推計」令和 4 年 10 月 1 日現在概算値）となり、本県人口の占める割合は 0.60% である。また、本県の面積は 4,190.58 k㎡（国土地理院「全国都道府県市区町村別面積調」令和 4 年 10 月 1 日現在）であり、人口密度は 1 k㎡当たり 179.7 人である。

人口は昭和 46 年以降増加傾向が続いていたが、平成 12 年以降は減少に転じ、令和 4 年は前年と比べ△0.95%と、23 年連続の減少となっている。

図 1 総人口・人口増減率の推移（昭和 40 年～令和 4 年）

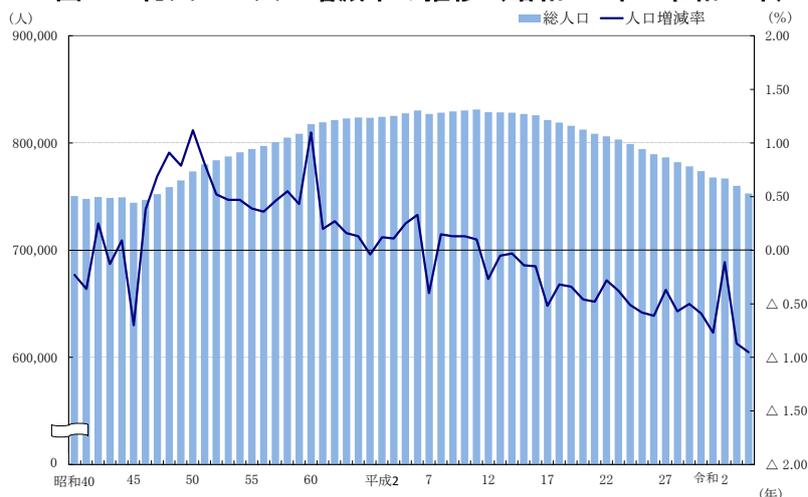


表 1 人口の推移（平成元年～令和 4 年）

区分	総人口	人口増減数	人口増減率	自然増減数	社会増減数	外国人数
平成元年	823,943	1,087	0.13	3,044	△ 1,957	...
2※	823,585	△ 358	△ 0.04	2,430	△ 1,453	5,257
3	824,581	996	0.12	2,355	△ 1,359	5,888
4	825,515	934	0.11	2,028	△ 1,094	6,588
5	827,560	2,045	0.25	1,673	372	7,379
6	830,317	2,757	0.33	2,086	671	7,848
7※	826,996	△ 3,321	△ 0.40	1,732	681	7,593
8	828,249	1,253	0.15	1,733	△ 480	7,886
9	829,344	1,095	0.13	1,346	△ 251	8,548
10	830,429	1,085	0.13	1,419	△ 334	9,091
11	831,222	793	0.10	1,135	△ 342	9,681
12※	828,944	△ 2,278	△ 0.27	1,287	276	9,861
13	828,502	△ 442	△ 0.05	1,070	△ 1,512	9,957
14	828,285	△ 217	△ 0.03	892	△ 1,109	10,389
15	827,110	△ 1,175	△ 0.14	409	△ 1,584	10,740
16	825,880	△ 1,230	△ 0.15	△ 39	△ 1,191	11,252
17※	821,592	△ 4,288	△ 0.52	△ 444	△ 1,267	10,803
18	818,975	△ 2,617	△ 0.32	△ 596	△ 2,021	10,733
19	816,198	△ 2,777	△ 0.34	△ 500	△ 2,277	10,665
20	812,479	△ 3,719	△ 0.46	△ 894	△ 2,825	10,241
21	808,589	△ 3,890	△ 0.48	△ 970	△ 2,920	9,377
22※	806,314	△ 2,275	△ 0.28	△ 1,461	△ 1,910	10,562
23	803,216	△ 3,098	△ 0.38	△ 1,885	△ 1,213	10,311
24	799,127	△ 4,089	△ 0.51	△ 1,990	△ 2,099	9,929
25	794,492	△ 4,635	△ 0.58	△ 2,332	△ 2,303	9,589
26	789,633	△ 4,859	△ 0.61	△ 2,626	△ 2,233	9,467
27※	786,740	△ 2,893	△ 0.37	△ 2,496	△ 1,773	9,971
28	782,232	△ 4,508	△ 0.57	△ 2,913	△ 1,595	9,836
29	778,329	△ 3,903	△ 0.50	△ 3,468	△ 435	10,986
30	773,731	△ 4,598	△ 0.59	△ 3,588	△ 1,010	11,988
令和元年	767,742	△ 5,989	△ 0.77	△ 3,865	△ 2,124	12,436
2※	766,863	△ 879	△ 0.11	△ 3,866	△ 1,197	14,845
3	760,209	△ 6,654	△ 0.87	△ 4,504	△ 2,150	13,796
4	752,976	△ 7,233	△ 0.95	△ 5,159	△ 2,074	14,223

【※は国勢調査結果】

(注)※年の総人口については、国勢調査人口におきかえており、前年の推計人口に自然増減数および社会増減数を加えた数値とは一致しない。

(1) 自然動態（出生・死亡）

出生数は5,076人となり、前年と比べ128人の減少となった。第2次ベビーブーム期の昭和48年以降減少傾向が続いている。

一方、死亡数は10,235人で、前年に比べ527人の増加となった。この結果、自然増減数は5,159人の減少となり、平成16年以降19年連続の減少となっている。

(2) 社会動態（転入・転出）

社会動態は、昭和25年以降ほぼ一貫して減少の傾向にあり、平成13年以降社会減少が続いている。令和4年の県外転入者は14,347人、県外転出者は16,421人となっており、この結果2,074人の社会減少となった。県外転入で最も多いのは愛知県の1,151人であり、次いで石川県1,148人、大阪府978人となっている。また、県外転出で最も多いのは石川県の1,590人であり、次いで愛知県1,567人、東京都1,502人となっている。

図2 自然増減数・社会増減数（平成元年～令和4年）

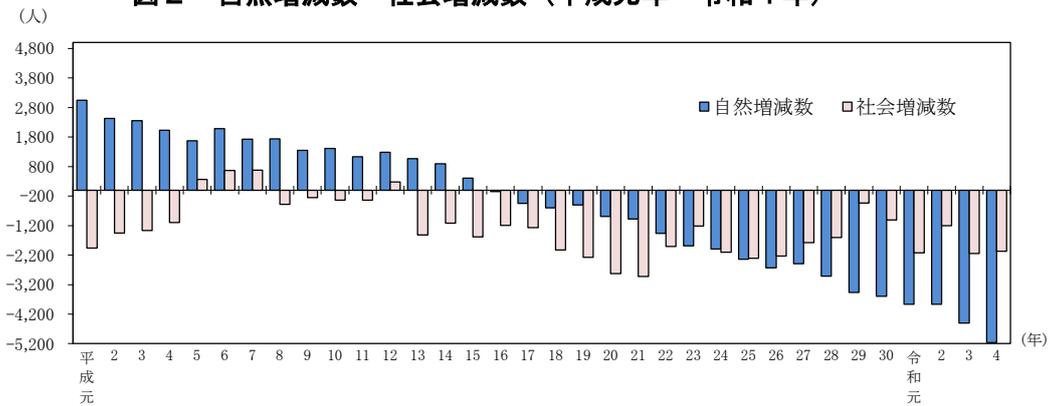
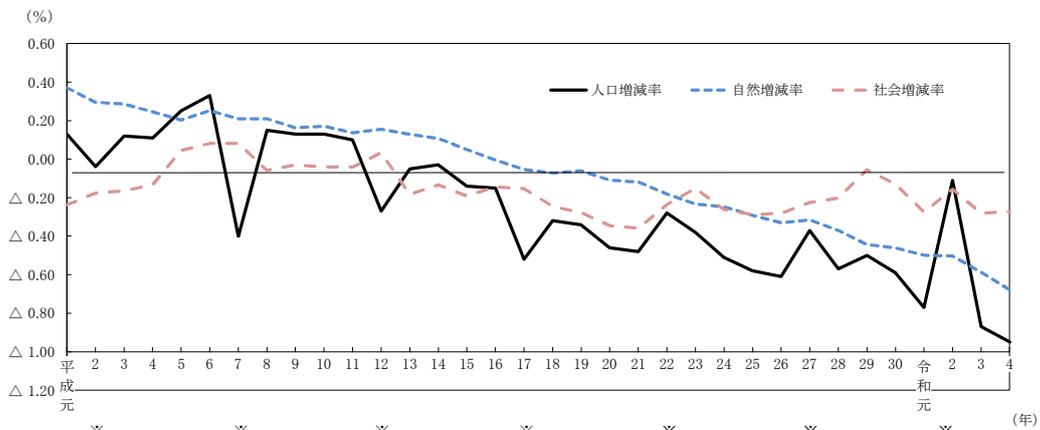


図3 人口増減率・自然増減率・社会増減率（平成元年～令和4年）



(注) 国勢調査年の人口増減率は、国勢調査人口をもとに算出しているため、自然増減率と社会増減率の合計とは一致しない。【※は国勢調査結果】

図4 出生数・死亡数・転入者数・転出者数（平成元年～令和4年）

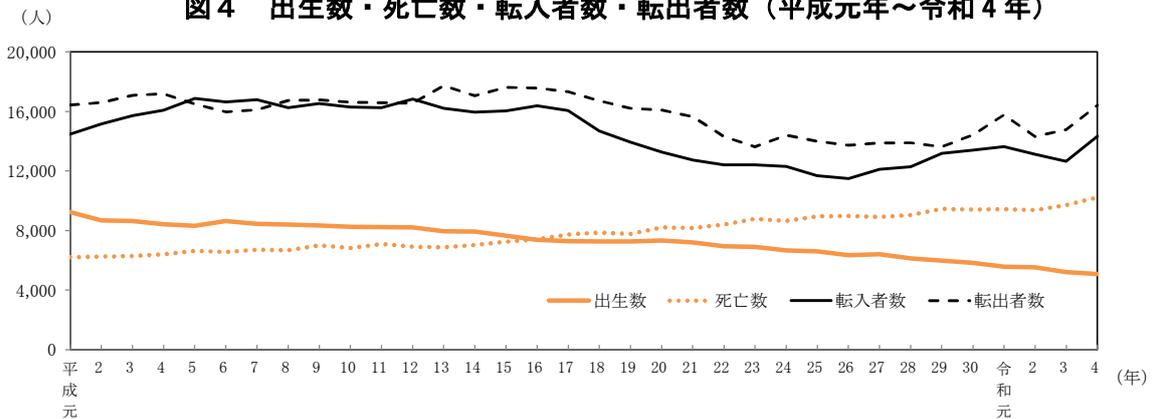


図5 総人口の推移（令和3年10月～令和4年10月）

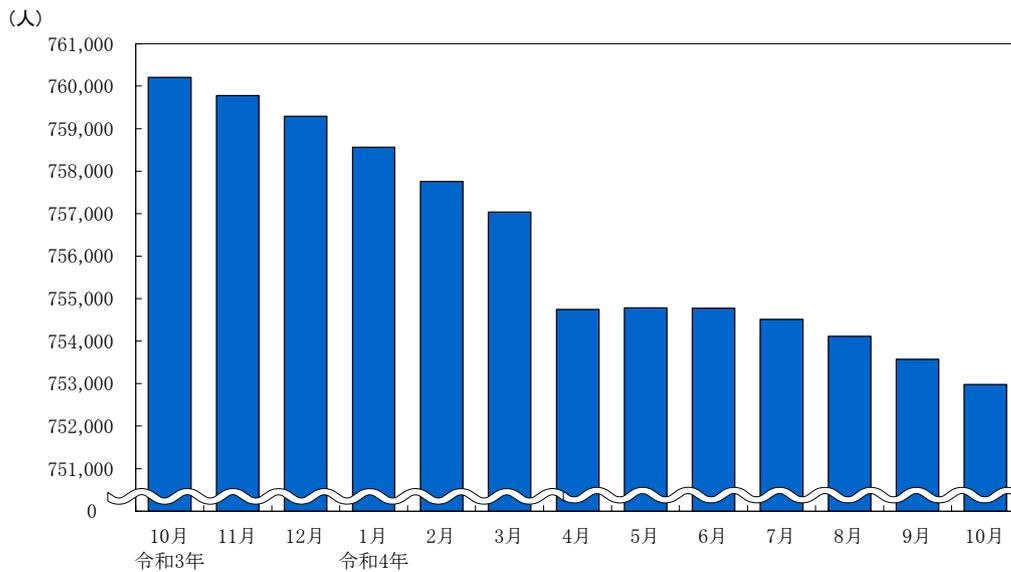


図6 自然増減数・社会増減数（令和3年10月～令和4年9月）



表2 月別人口・移動者数（令和3年10月～令和4年10月）

(単位:人)

月	人口	人口増減	自然増減	出生	死亡	社会増減	県外転入	県外転出
令和3年 10月	760,209	△ 425	△ 300	467	767	△ 125	855	980
11月	759,784	△ 495	△ 462	443	905	△ 33	924	957
12月	759,289	△ 722	△ 407	433	840	△ 315	779	1,094
令和4年 1月	758,567	△ 805	△ 621	415	1,036	△ 184	666	850
2月	757,762	△ 723	△ 507	368	875	△ 216	733	949
3月	757,039	△ 2,295	△ 506	414	920	△ 1,789	2,267	4,056
4月	754,744	44	△ 462	365	827	506	2,129	1,623
5月	754,788	△ 9	△ 428	432	860	419	1,582	1,163
6月	754,779	△ 268	△ 352	379	731	84	1,275	1,191
7月	754,511	△ 395	△ 334	394	728	△ 61	1,078	1,139
8月	754,116	△ 540	△ 377	506	883	△ 163	1,022	1,185
9月	753,576	△ 600	△ 403	460	863	△ 197	1,037	1,234
10月	752,976	-	-	-	-	-	-	-
総数		△ 7,233	△ 5,159	5,076	10,235	△ 2,074	14,347	16,421

(注)「人口」は各月1日現在、「人口増減」「自然増減」「出生」「死亡」「社会増減」「県外転入」「県外転出」は各月中の数

表3 5歳階級別移動者数（令和3年10月～令和4年9月）

（単位：人）

歳	出生			死亡			県外転入			県外転出		
	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女
0～4	5,076	2,597	2,479	16	8	8	575	296	279	639	319	320
5～9	—	—	—	1	1	0	315	169	146	327	181	146
10～14	—	—	—	5	2	3	149	71	78	170	79	91
15～19	—	—	—	8	6	2	708	410	298	838	472	366
20～24	—	—	—	4	3	1	3,297	1,855	1,442	4,233	2,170	2,063
25～29	—	—	—	16	14	2	3,077	1,720	1,357	3,327	1,868	1,459
30～34	—	—	—	12	7	5	1,986	1,120	866	2,159	1,196	963
35～39	—	—	—	19	12	7	1,151	651	500	1,343	757	586
40～44	—	—	—	41	30	11	816	491	325	907	525	382
45～49	—	—	—	53	35	18	693	454	239	778	460	318
50～54	—	—	—	98	51	47	598	401	197	601	365	236
55～59	—	—	—	141	84	57	369	261	108	373	249	124
60～64	—	—	—	244	172	72	213	140	73	216	135	81
65～69	—	—	—	396	288	108	121	76	45	146	89	57
70～74	—	—	—	845	584	261	114	56	58	117	56	61
75～79	—	—	—	976	614	362	62	31	31	79	34	45
80～84	—	—	—	1,433	820	613	45	17	28	65	21	44
85～89	—	—	—	2,149	1,036	1,113	38	10	28	56	13	43
90以上	—	—	—	3,778	1,181	2,597	20	3	17	47	9	38
総数	5,076	2,597	2,479	10,235	4,948	5,287	14,347	8,232	6,115	16,421	8,998	7,423

図7-1 5歳階級別県外転入者数

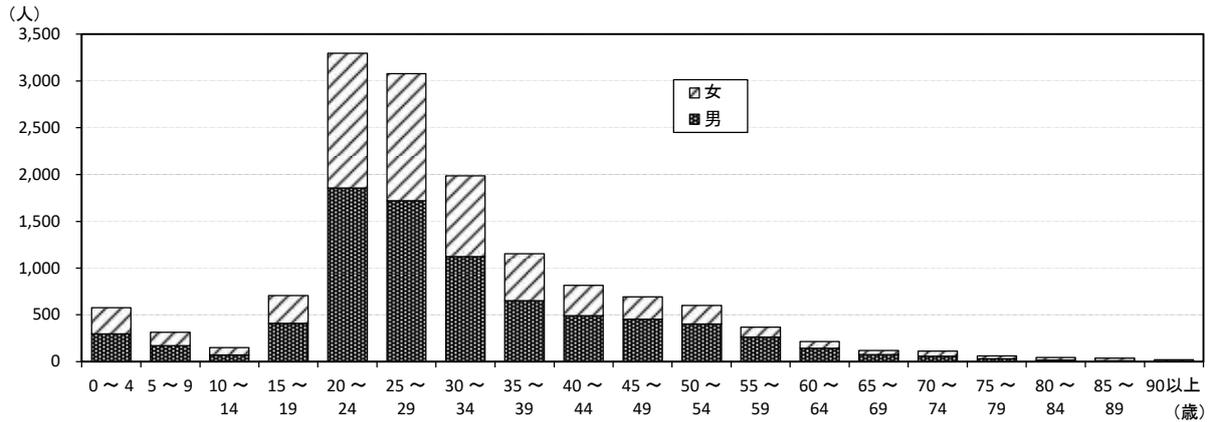


図7-2 5歳階級別県外転出者数

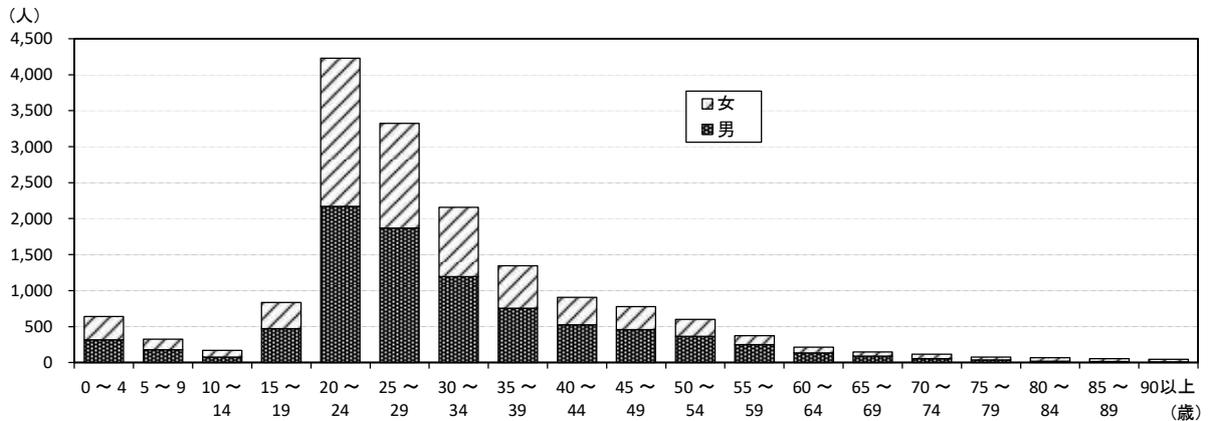
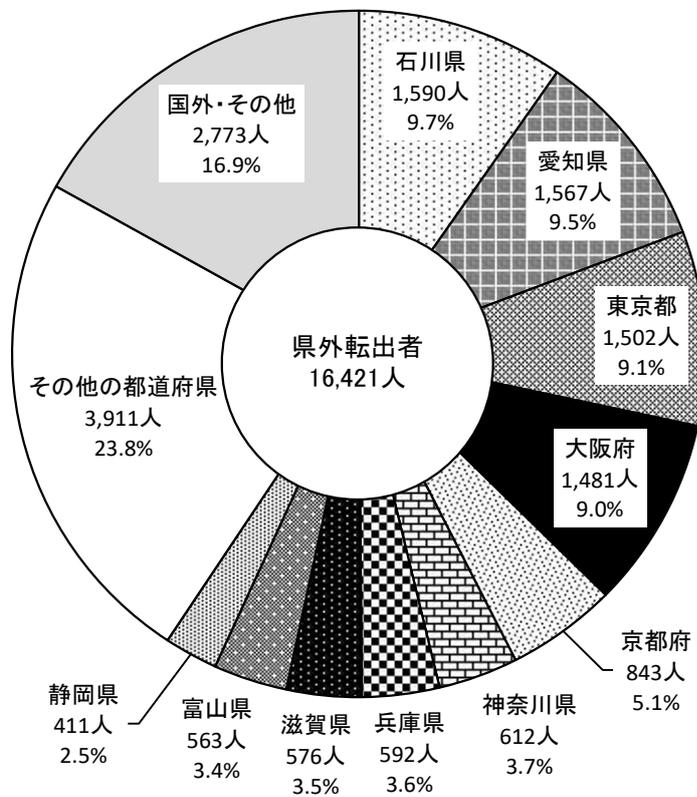
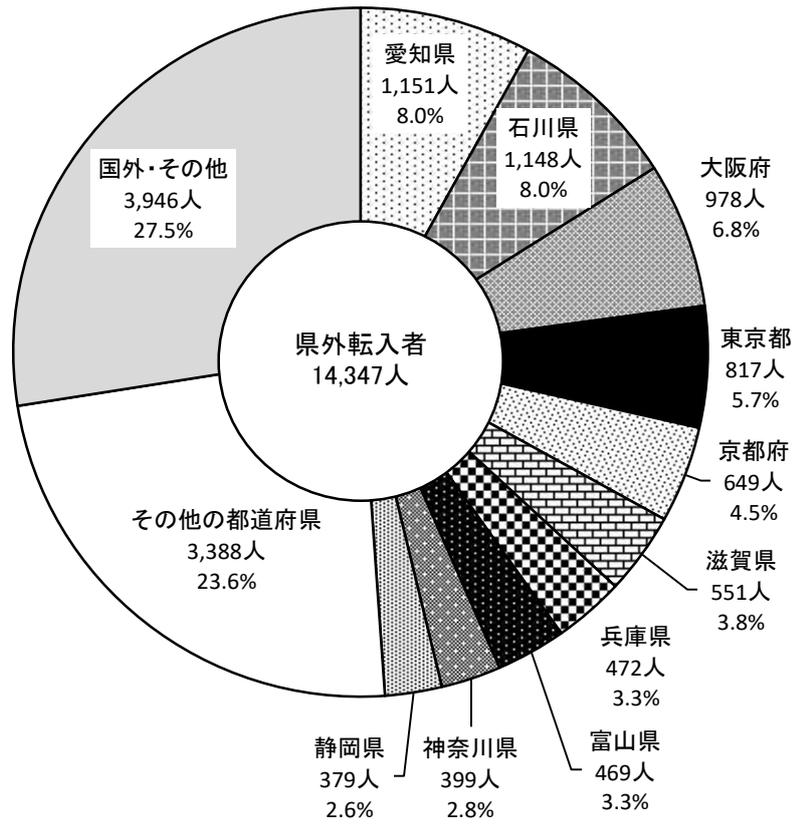


図8 県外転入前・転出先住所地内訳



2 年齢・男女別人口

(1) 年齢（5歳階級）別人口

福井県の人口を年齢5歳階級別にみると、70～74歳が61,228人と最も多く、次いで45～49歳53,666人、50～54歳52,120人の順となっている。

人口ピラミッドをみると、昭和22～24年（現71～73歳）の第1次ベビーブーム期までは若年層ほど人口が多い「富士山型」をしていたが、出生数の減少に伴い「つぼ型」に変化した。その後、昭和46～49年（現46～49歳）の第2次ベビーブーム期を経て出生数が再び減少し、現在は68～73歳と44～50歳を中心とした2つの膨らみを持つ「逆ひょうたん型」となっている。

人口を男女別にみると、男性が367,932人、女性が385,044人であり、女性が男性より17,112人多く、人口性比（女性100人に対する男性の数）は95.6となっている。

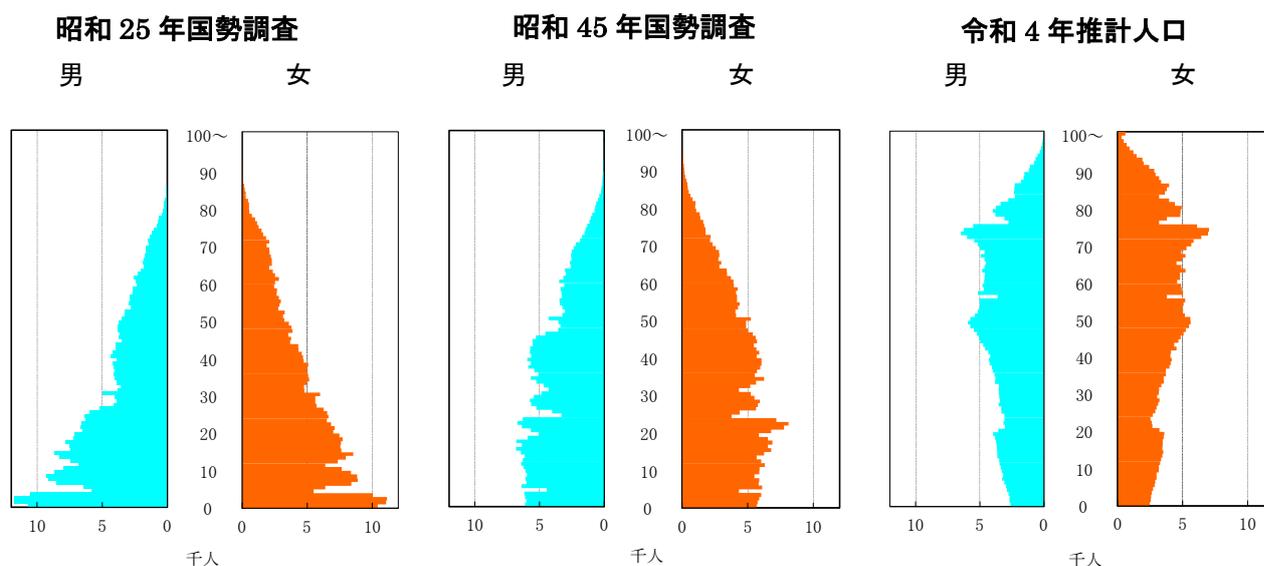
表4 男女別年齢5歳階級別人口

(単位:人、%)

年齢	男女計	男	女	性比	年齢	男女計	男	女	性比
0～4	26,479	13,579	12,900	105.3	50～54	52,120	26,322	25,798	102.0
5～9	30,627	15,767	14,860	106.1	55～59	46,983	23,205	23,778	97.6
10～14	34,280	17,587	16,693	105.4	60～64	47,654	23,374	24,280	96.3
15～19	36,354	18,829	17,525	107.4	65～69	48,651	23,751	24,900	95.4
20～24	29,599	15,910	13,689	116.2	70～74	61,228	29,286	31,942	91.7
25～29	32,327	17,061	15,266	111.8	75～79	41,856	19,118	22,738	84.1
30～34	34,937	18,134	16,803	107.9	80～84	34,555	14,483	20,072	72.2
35～39	40,094	20,442	19,652	104.0	85～89	26,626	9,446	17,180	55.0
40～44	44,499	22,812	21,687	105.2	90～	19,790	5,065	14,725	34.4
45～49	53,666	27,411	26,255	104.4	合計	752,976	367,932	385,044	95.6

(注)年齢不詳 男女計10,651人、男6,350人、女4,301人を計に含む。

図9 福井県の人口ピラミッド（男女別各歳）



(2) 年齢（3区分）別人口

総人口を年齢3区分別にみると、令和4年の年少人口（0～14歳）は91,386人（12.3%）で、前年に比べて0.2ポイント減少、生産年齢人口（15～64歳）は418,233人（56.3%）であり、前年と比べて0.1ポイント減少した。老年人口（65歳以上）は232,706人（31.3%）であり、前年と比べて0.2ポイント増加した。

また、人口の高齢化の程度を示す指数である老年化指数（老年人口の年少人口に対する比率）は254.6となっており、平成7年に老年人口が初めて年少人口を上回って以降、毎年上昇を続けている。

図10 年齢（3区分）別人口の推移（平成元年～令和4年）

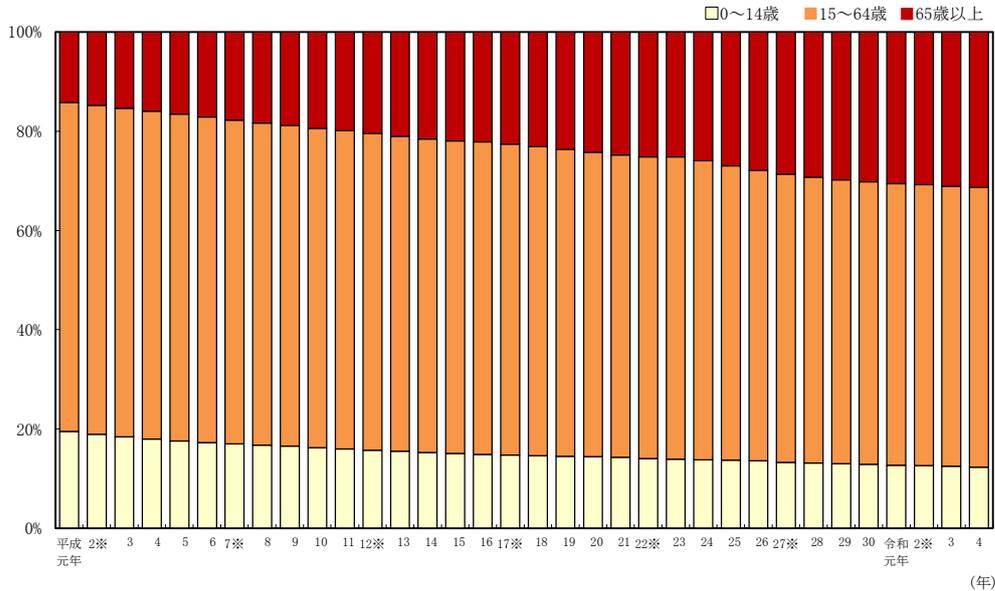


表5 年齢（3区分）別人口の推移（平成元年～令和4年）

区分	年齢構成別人口			構成割合			老年化指数
	0～14歳	15～64歳	65歳以上	0～14歳	15～64歳	65歳以上	
平成元年	160,475	546,131	117,337	19.5	66.3	14.2	73.1
2※	155,998	545,297	121,940	18.9	66.2	14.8	78.2
3	152,112	545,414	127,055	18.4	66.1	15.4	83.5
4	148,626	545,024	131,865	18.0	66.0	16.0	88.7
5	145,617	545,144	136,799	17.6	65.9	16.5	93.9
6	143,479	544,816	142,022	17.3	65.6	17.1	99.0
7※	140,593	539,592	146,728	17.0	65.3	17.7	104.4
8	138,624	537,615	151,927	16.7	64.9	18.3	109.6
9	136,966	535,779	156,516	16.5	64.6	18.9	114.3
10	134,951	534,162	161,233	16.3	64.3	19.4	119.5
11	132,658	533,185	165,296	16.0	64.2	19.9	124.6
12※	130,143	529,017	169,489	15.7	63.8	20.5	130.2
13	128,279	525,455	174,473	15.5	63.4	21.1	136.0
14	126,329	523,198	178,463	15.3	63.2	21.6	141.3
15	124,528	520,980	181,307	15.1	63.0	21.9	145.6
16	122,588	520,112	182,885	14.8	63.0	22.2	149.2
17※	120,745	513,858	185,501	14.7	62.7	22.6	153.6
18	119,297	509,209	188,981	14.6	62.3	23.1	158.4
19	118,031	503,513	193,166	14.5	61.8	23.7	163.7
20	116,860	497,371	196,760	14.4	61.3	24.3	168.4
21	115,447	491,666	199,988	14.3	60.9	24.8	173.2
22※	112,192	485,409	200,942	14.0	60.8	25.2	179.1
23	110,816	484,729	199,900	13.9	60.9	25.1	180.4
24	109,166	476,832	205,358	13.8	60.3	26.0	188.1
25	107,644	467,096	211,981	13.7	59.4	26.9	196.9
26	105,932	457,563	218,367	13.5	58.5	27.9	206.1
27※	102,986	451,409	222,408	13.3	58.1	28.6	216.0
28	101,322	444,857	226,116	13.1	57.6	29.3	223.2
29	99,805	439,896	228,691	13.0	57.2	29.8	229.1
30	98,058	435,182	230,554	12.8	57.0	30.2	235.1
令和元年	96,407	429,898	231,500	12.7	56.7	30.5	240.1
2※	95,544	427,984	232,684	12.6	56.6	30.8	243.5
3	93,533	422,742	233,283	12.5	56.4	31.1	249.4
4	91,386	418,233	232,706	12.3	56.3	31.3	254.6

(注1) 平成元年から平成6年は、年齢不詳を年齢構成別人口に含めている。

(注2) 平成7年以降の構成割合は、年齢不詳を除いて算出している。

【※は国勢調査結果】

3 世帯数 294,642 世帯（令和4年10月1日現在）

福井県の総世帯数は294,642世帯であり、前年と比べ1,550世帯(0.53%)増加した。また、1世帯当たり人員は2.56人であり、前年と比べ0.03人の減少となり、核家族や単身世帯の増加に伴い毎年減少を続けている。

図11 世帯数の推移（平成元年～令和4年）

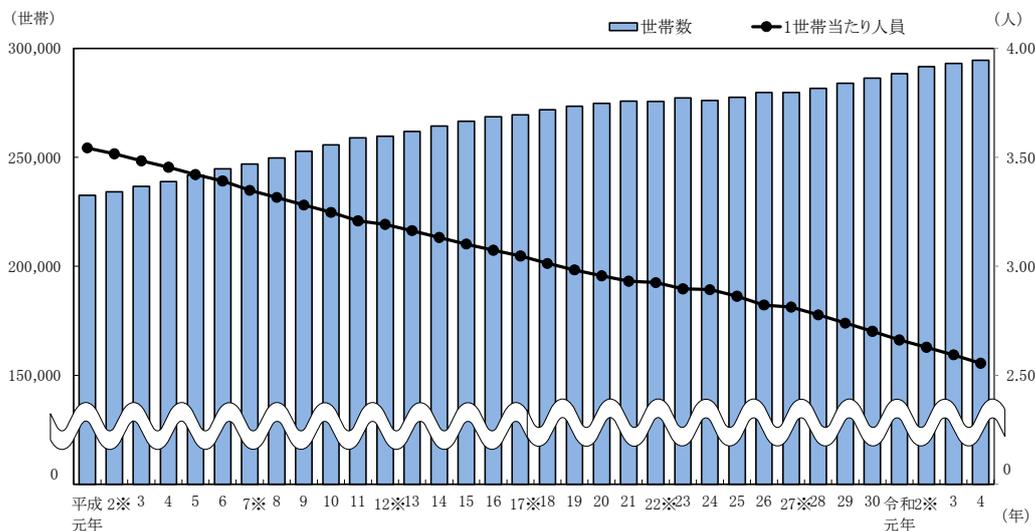


表6 世帯数の推移（平成元年～令和4年）

(単位:世帯、人、%)

区分	世帯数	増減数	増減率	1世帯当たり人員
平成元年	232,532	1,867	0.81	3.54
2※	234,192	1,660	0.71	3.52
3	236,662	2,470	1.05	3.48
4	238,960	2,298	0.97	3.45
5	241,865	2,905	1.22	3.42
6	244,821	2,956	1.22	3.39
7※	246,911	2,090	0.85	3.35
8	249,750	2,839	1.15	3.32
9	252,714	2,964	1.19	3.28
10	255,684	2,970	1.18	3.25
11	259,040	3,356	1.31	3.21
12※	259,612	572	0.22	3.19
13	261,845	2,233	0.86	3.16
14	264,393	2,548	0.97	3.13
15	266,603	2,210	0.84	3.10
16	268,671	2,068	0.78	3.07
17※	269,577	906	0.34	3.05
18	271,810	2,233	0.83	3.01
19	273,552	1,742	0.64	2.98
20	274,817	1,265	0.46	2.96
21	275,759	942	0.34	2.93
22※	275,599	△ 160	△ 0.06	2.93
23	277,218	1,619	0.59	2.90
24	276,183	△ 1,035	△ 0.37	2.89
25	277,510	1,327	0.48	2.86
26	279,774	2,264	0.82	2.82
27※	279,687	△ 87	△ 0.03	2.81
28	281,612	1,925	0.69	2.78
29	284,100	2,488	0.88	2.74
30	286,392	2,292	0.81	2.70
令和元年	288,356	1,964	0.69	2.66
2※	291,662	3,306	1.15	2.63
3	293,092	1,430	0.49	2.59
4	294,642	1,550	0.53	2.56

【※は国勢調査結果】

4 市町人口

人口が最も多いのは福井市の 258,733 人であり、県全体の 34.4%を占める。次いで坂井市 87,130 人、越前市 76,471 人となっている。

(1) 人口増減

県内のすべての市町において、昨年比べ人口が減少した。

人口増減率は、鯖江市が $\Delta 0.50\%$ と最も高く、次いで永平寺町 $\Delta 0.64\%$ 、坂井市 $\Delta 0.65\%$ となっている。最も減少率が高いのは池田町の $\Delta 2.77\%$ であり、次いでおおい町 $\Delta 2.36\%$ 、南越前町 $\Delta 2.15\%$ となっている。

広域圏単位で見ると、すべての広域圏で減少しており、最も減少率が高いのは奥越の $\Delta 1.89\%$ であり、次いで嶺南 $\Delta 1.26\%$ となっている

表7 地区・市町別人口および増減率

(単位:人,%)

	人口	増減数	増減率
県計	752,976	$\Delta 7,233$	$\Delta 0.95$
福井地区	277,434	$\Delta 1,894$	$\Delta 0.68$
福井市	258,733	$\Delta 1,774$	$\Delta 0.68$
永平寺町	18,701	$\Delta 120$	$\Delta 0.64$
坂井地区	113,856	$\Delta 984$	$\Delta 0.86$
あわら市	26,726	$\Delta 416$	$\Delta 1.53$
坂井市	87,130	$\Delta 568$	$\Delta 0.65$
奥越地区	51,411	$\Delta 993$	$\Delta 1.89$
大野市	29,997	$\Delta 657$	$\Delta 2.14$
勝山市	21,414	$\Delta 336$	$\Delta 1.54$
丹南地区	178,895	$\Delta 1,684$	$\Delta 0.93$
鯖江市	68,046	$\Delta 341$	$\Delta 0.50$
越前市	79,471	$\Delta 817$	$\Delta 1.02$
池田町	2,283	$\Delta 65$	$\Delta 2.77$
南越前町	9,590	$\Delta 211$	$\Delta 2.15$
越前町	19,505	$\Delta 250$	$\Delta 1.27$
嶺南地区	131,380	$\Delta 1,678$	$\Delta 1.26$
敦賀市	63,009	$\Delta 625$	$\Delta 0.98$
小浜市	28,378	$\Delta 275$	$\Delta 0.96$
美浜町	8,895	$\Delta 103$	$\Delta 1.14$
高浜町	9,967	$\Delta 208$	$\Delta 2.04$
おおい町	7,698	$\Delta 186$	$\Delta 2.36$
若狭町	13,433	$\Delta 281$	$\Delta 2.05$

図12 市町別人口増減率（その1）

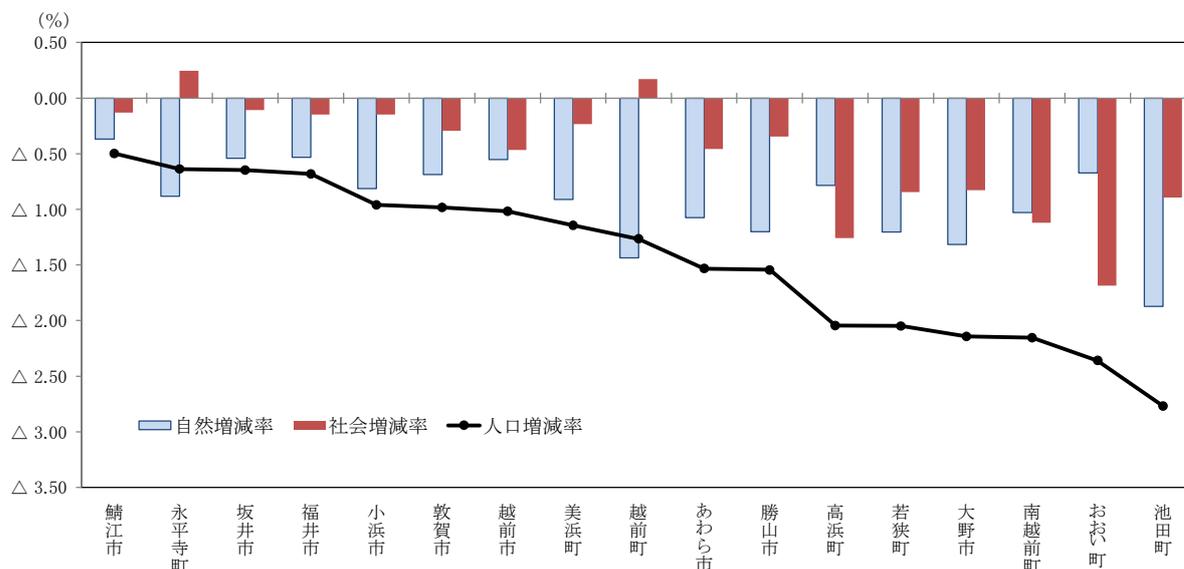
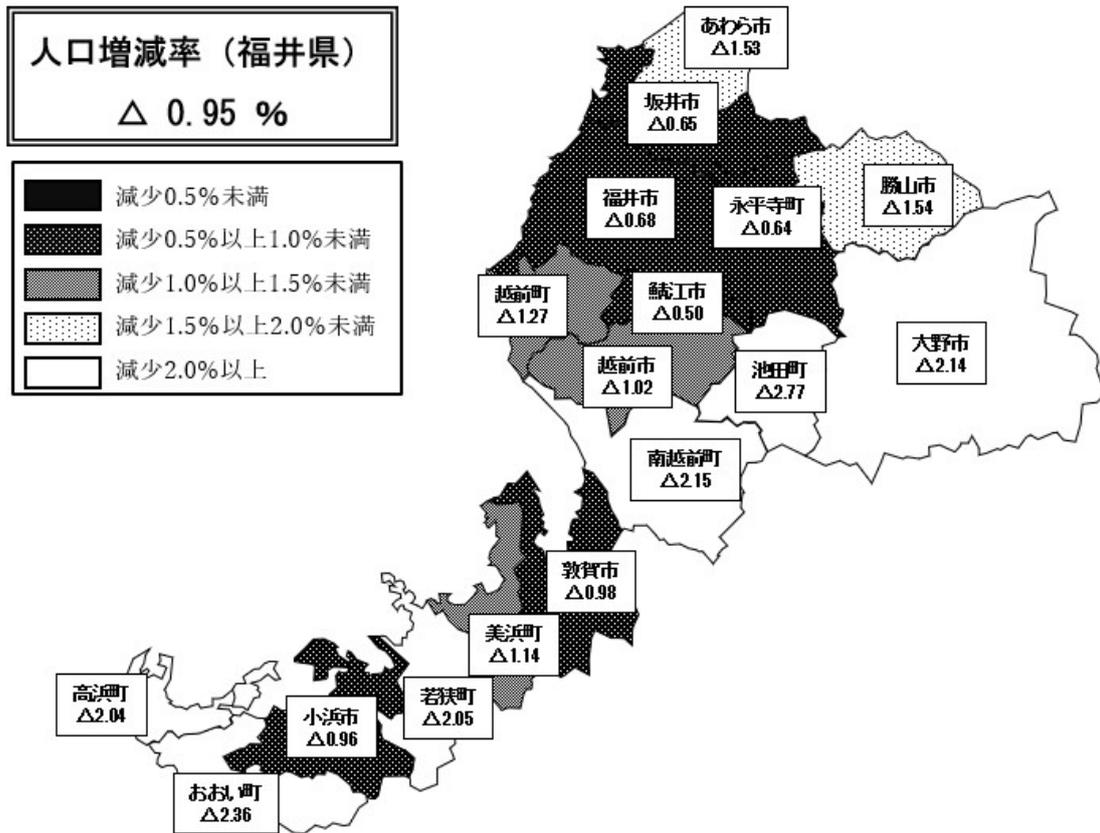


図 1 3 市町別人口増減率（その 2）



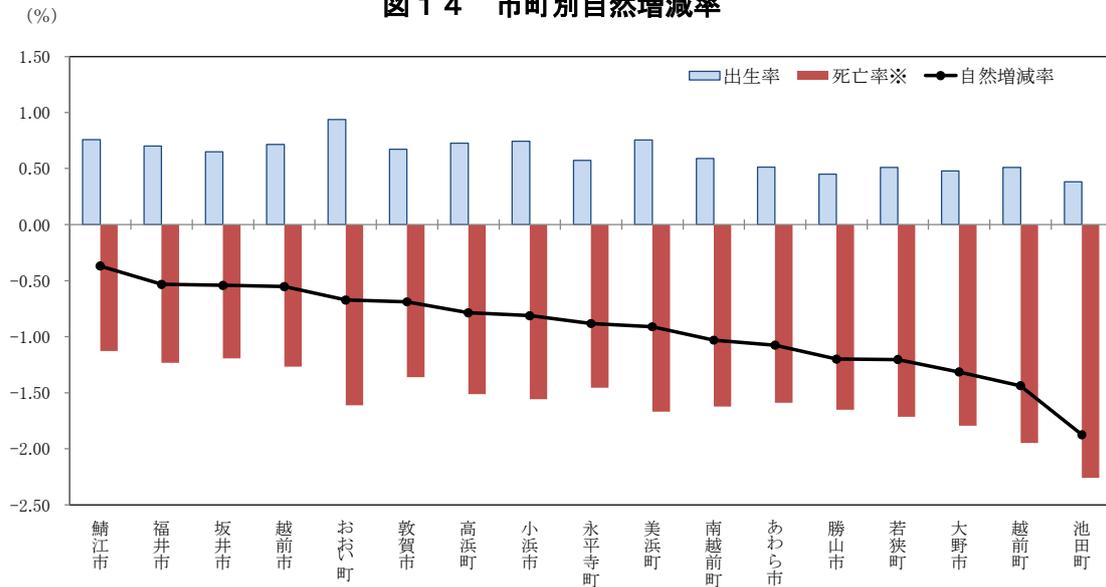
(2) 自然動態

自然増減率はすべての市町でマイナスとなり、最も減少率が低いのは鯖江市の $\Delta 0.37\%$ であり、次いで福井市 $\Delta 0.53\%$ 、坂井市 $\Delta 0.54\%$ となっている。最も減少率が高いのは池田町の $\Delta 1.87\%$ であり、次いで越前町 $\Delta 1.44\%$ 、大野市 $\Delta 1.31\%$ となっている。

出生率は、おおい町が 0.94% と最も高く、次いで鯖江市、美浜町が 0.76% となっている。最も低いのは池田町の 0.38% であり、次いで勝山市 0.45% 、大野市 0.48% となっている。

死亡率は、池田町が 2.26% と最も高く、次いで越前町 1.95% 、大野市 1.79% となっている。最も低いのは鯖江市の 1.13% であり、次いで坂井市 1.19% 、福井市 1.23% となっている。

図 1 4 市町別自然増減率



※死亡率は、人口減少の要因としてマイナスで表記した。

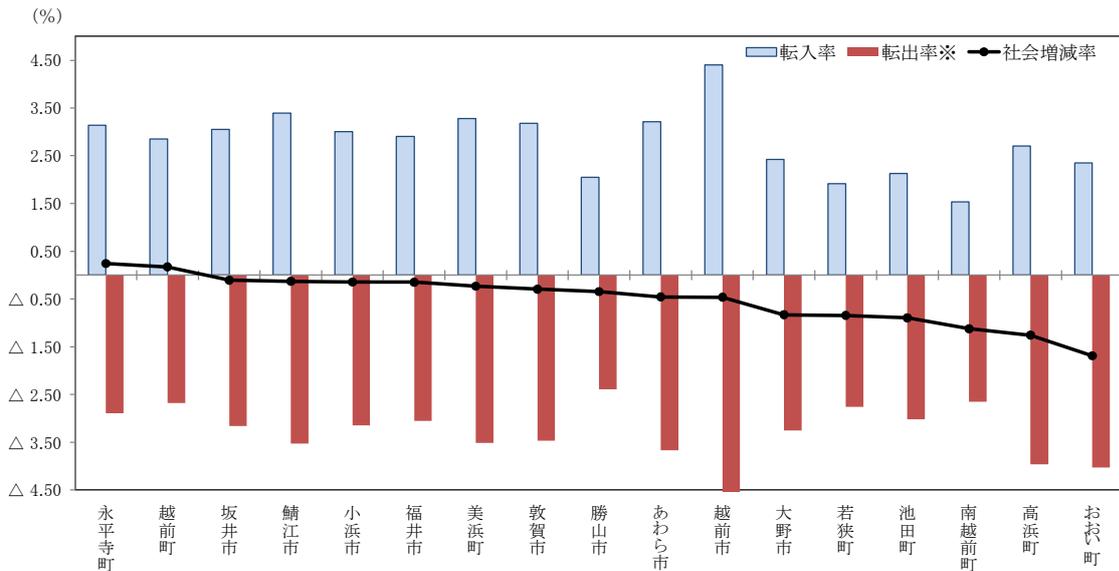
(3) 社会動態

社会増減率がプラス（＝転入超過）になったのは2町であり、最も高いのは永平寺町が0.24%、次いで越前町が0.17%となった。他の15市町はマイナス（＝転出超過）になっており、最も低いのはおおい町の△1.69%であり、次いで高浜町△1.26%、南越前町△1.12%となった。

転入率は、越前市が4.40%と最も高く、次いで鯖江市が3.40%、美浜町3.28%となっている。最も低いのは南越前町の1.53%であり、次いで若狭町1.91%、勝山市2.05%となっている。

転出率は、越前市が4.87%と最も高く、次いでおおい町4.03%、高浜町3.96%となっている。最も低いのは、勝山市の2.39%であり、次いで南越前町2.65%、越前町2.68%となっている。

図15 市町別社会増減率

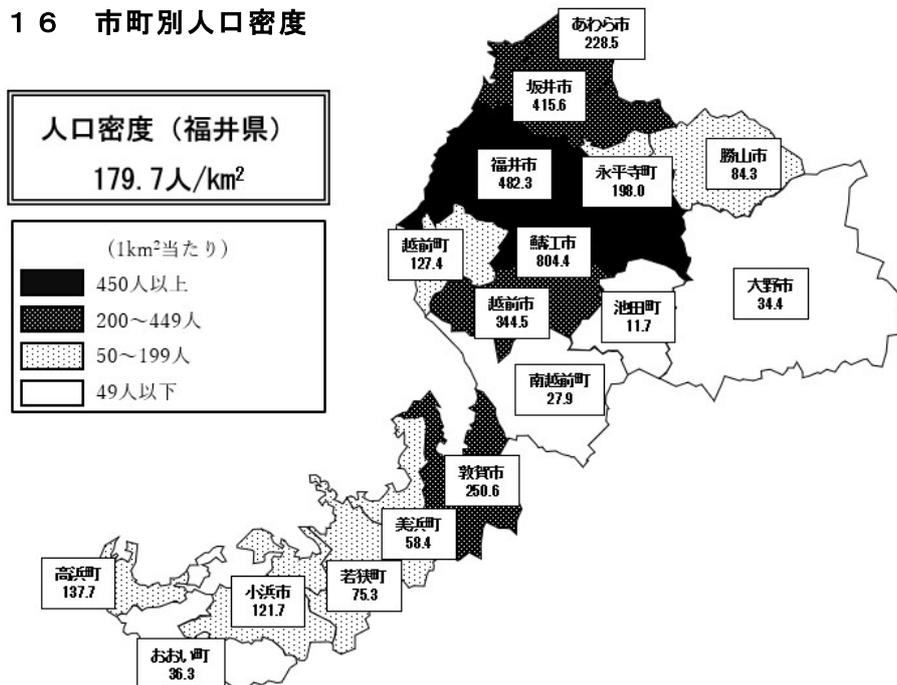


※転出率は、人口減少の要因としてマイナスで表記した。

(4) 人口密度

面積1k㎡当たりの人口密度は、鯖江市が804.4人であり最も高く、次いで福井市482.3人、坂井市415.6人となっている。最も低いのは池田町の11.7人であり、次いで南越前町27.9人、大野市34.4人となっている。

図16 市町別人口密度



(5) 年齢（3区分）別人口

年少人口（0～14歳）の割合が最も高いのは鯖江市の13.7%であり、次いでおおい町13.6%、坂井市12.7%となっている。最も低いのは池田町の8.1%であり、次いで大野市が10.4%、美浜町が10.5%となっている。

生産年齢人口（15～64歳）の割合が最も高いのは鯖江市、永平寺町の58.3%であり、次いで福井市が57.6%となっている。最も低いのは池田町の47.0%であり、次いで南越前町49.7%、若狭町50.4%となっている。

老年人口（65歳以上）の割合が最も高いのは池田町の44.9%であり、次いで南越前町、大野市が38.9%となっている。最も低いのは鯖江市の27.9%であり、次いで坂井市29.7%、福井市29.9%となっている。

老年化指数（老年人口の年少人口に対する比率）が最も高いのは池田町の557.6であり、次いで大野市374.0、勝山市357.7となっている。最も低いのは鯖江市の203.4であり、次いで坂井市233.3、福井市239.7となっている。

図17 市町別年齢（3区分）別人口の割合

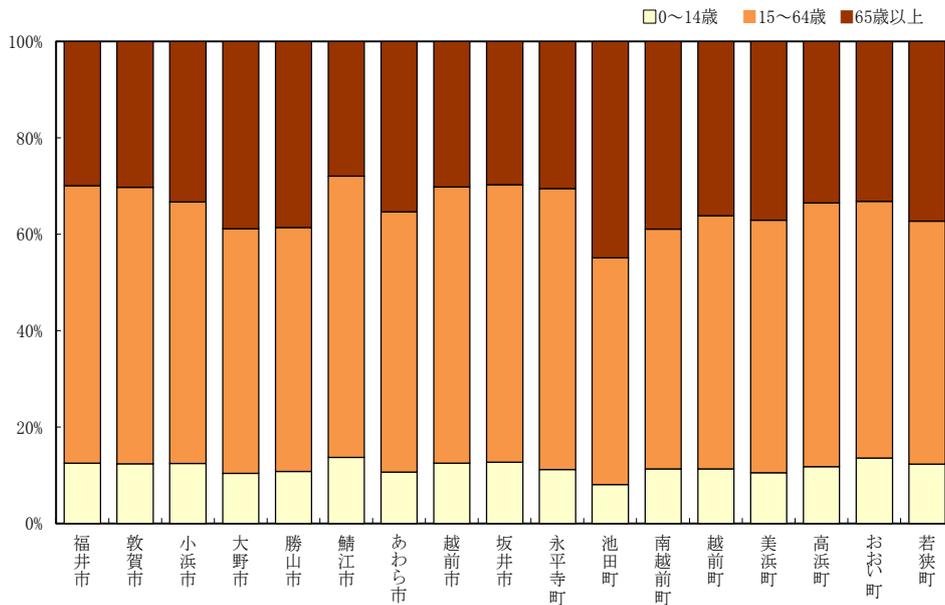
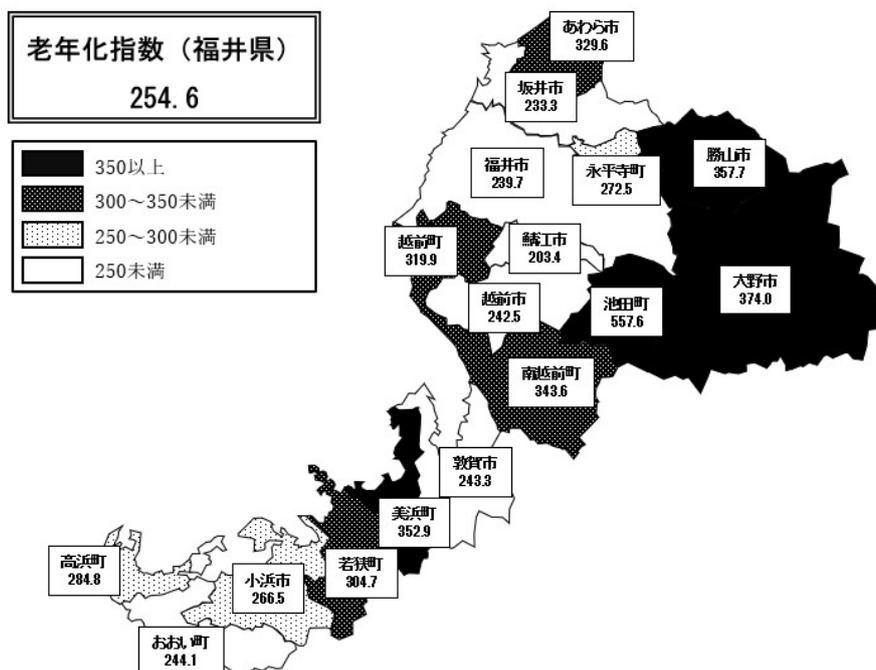


図18 市町別老年化指数



(6) 世帯数

世帯数が最も多いのは福井市の 106,031 世帯であり、県全体の 36.0%を占めている。次いで坂井市 31,631 世帯、越前市 30,018 世帯となっている。

増減率は、越前町が 1.12%と最も高く、次いで坂井市 1.04%、永平寺町 0.91%となっている。最も低いのは、南越前町、おおい町の△1.10%であり、次いで高浜町△1.07%となっている。

1 世帯当たり人員が最も多いのは、南越前町の 2.97 人であり、次いで越前町 2.95 人、勝山市 2.87 人となっている。最も少ないのは、敦賀市、高浜町の 2.25 人であり、次いで小浜市 2.34 人となっている。

表 8 市町別世帯数

(単位:世帯、%)

	世帯数	増減数	増減率
県 計	294,642	1,550	0.53
福 井 市	106,031	884	0.84
敦 賀 市	27,976	89	0.32
小 浜 市	12,120	60	0.50
大 野 市	10,734	△ 69	△ 0.64
勝 山 市	7,456	15	0.20
鯖 江 市	24,506	211	0.87
あ わ ら 市	9,947	1	0.01
越 前 市	30,018	43	0.14
坂 井 市	31,631	326	1.04
永 平 寺 町	7,407	67	0.91
池 田 町	928	△ 9	△ 0.96
南 越 前 町	3,225	△ 36	△ 1.10
越 前 町	6,601	73	1.12
美 浜 町	3,713	△ 7	△ 0.19
高 浜 町	4,424	△ 48	△ 1.07
お お い 町	3,149	△ 35	△ 1.10
若 狭 町	4,776	△ 15	△ 0.31

図 19 市町別 1 世帯当たり人員

